せんごくの里ニュース

ふなで

2014年10月　第10号

〒597-0051　貝塚市王子1183-3
TEL.072-437-1075
FAX.072-437-1076
発行者：永田 美子

「白いくも」新メニューがラインアップ

ロコモコプレートランチ
あつあつグラタンランチ

7月から白いくものランチメニューが変わり、日替わりランチのほかに二つのメニューが加わりました！ロコモコのハンバーグ（写真上）やソース、グラタン（写真下）はもちろん手作り！お値段も日替わりと同じ￥680！ボリュームたっぷりのロコモコに、これからの涼しい季節にあつあつグラタン、どちらもおすすめですのでぜひ食べにいらして下さい☆

（小山みちる）

女性にとっては、楽しいひととき。せんごくの里「ラブリータイム」では、仲の良い利用者さん同士でネイルを可愛くキレイに変身させました。

自治会役員選挙を実施 新体制スタート

←選出された新しい役員の皆さん

6月に役員選挙を行いました。年々自治会活動も充実してきており、前役員から「選挙で役員を決めたい」と意見が出され。『選挙』で役員を決めることにしました。利用者のみんなも「投票用紙に書きます」など、それぞれに選挙に対するイメージがあるようでした。

初めての選挙だったので、皆さん「どうやって決めるんだろう？」と戸惑う部分もあったと思います。全体会で立候補者を募り、皆さんの前で演説をしてもらいました。その後、投票用紙に記入して投票箱に投函してもらうようにしました。

今期は６名の役員が当選しました。内２名の方は新しく役員になりました。また新しいメンバーで１年頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

（永松 享子）

「ひびきあいまつり」準備も着々

３回目となる「ひびきあいまつり」。今回もせんごくの里前庭や隣のワークセンター「すっく」を会場にして、開催されます。
今回から、貝塚市・貝塚市社会福祉協議会の後援も頂きました。実行委員会では打ち合わせを重ね、楽しい一日に盛り上げようと準備も着々。みなさん乞うご期待です！

出来上がったまつり告知チラシ⇒
（ステージイベントの詳細は省略しています）

支援員
東 明美

7月からお世話になっています。新人で至らぬ点もあると思いますが、皆さんにご指導頂きながら頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

新職員紹介

支援員
北出 晋一郎

９月18日より、せんごくの里で支援員として勤務させていただくことになりました。一生懸命頑張りますので、みなさん仲良くしてください。よろしくお願いします。

みんなでパワーアップだ!! せんごくの里

余暇を充実 はたらく力を高める 地域の輪を広げる

コーヒー豆を利用した消臭剤を袋につめる

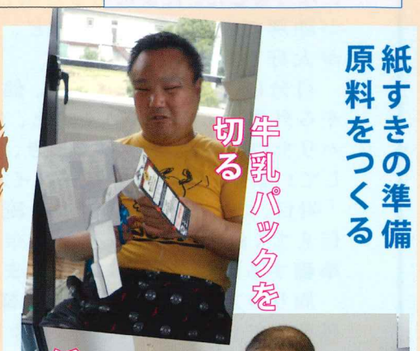
〈油っ子ちゃん〉油処理袋の作成

朝夕は、虫の音色が、秋めいた空気にしみわたります。今夏は各地で豪雨災害が頻発し、被災された方々の苦悩や苦労を思うと胸が痛みます。私たち人は、自然の恩恵を受けて営みを続けていますが、それをコントロールする事はとうてい出来ません。自然の恵みに感謝し、バランスを壊さないようにしていきたいものです。

11月16日のひびきあいまつりは“みんなでつながろう”「平和と福祉のまちづくり」をテーマに、平和と福祉について考え、語り合い、参加者の方々と繋がり合える楽しいイベントです。

障害があっても、あたりまえにはたらき、地域で暮らすことができる。そんなまちづくりをめざして、多くの方と手をつなぎ合える事を心から望みます。

せんごくの里 所長　永田　美子



紙すきの準備 原料をつくる

牛乳パックを切る

紙すきの準備

漉く

ティッシュケース裁縫は得意です

食欲の秋！余暇を活用して今回はさんまのデコレーションをつくりました o(^▽^o)〃

ボランティア一緒に作業

貝塚第四中学校の生徒の皆さんとは、いろんなボランティア活動を通じて交流を深めさせていただいています。これからもよろしくおねがいします。

パンを焼く

家族の思い

大好きなせんごくの里 安心です

せんごくの里にお世話になり、もう四年目になりました。たまにある月曜日の休日などが理解できなく泣き出すほど、里に行くのが大好きなえりかです。

自分にできる仕事があり、他にも女子会やら外出など楽しみがありと、生活にメリハリをつけた場を作って頂き、とても感謝しています。特にコーヒータイムの前日は、「明日、コーヒータイム」と、流暢な発音で伝えてくれ、お気に入りの財布に小遣いを準備するほど楽しみにしています。

周りの方々、特に職員の皆様のご配慮に感謝しています。これからも今日のような生活が続いてくれることを願います。

基山　弘枝

色んなことに、これからもチャレンジを

今年は残暑が厳しい年でした。その中でみなさん、頑張って作業されています。玲央人も大好きなせんごくの里に通っています。四季折々の行事やご当地・世界のグルメのメニューは、親子共々楽しみにしています。

関空やプールへの一日外出は前の晩から楽しみにしていて、朝、家を出るときからルンルンで出かけていきます。これからも色々なことにチャレンジして意欲的に頑張ってほしいです。

林　晴美

白いくも

カフェ研修行いました

８月末に白いくもメンバーで喫茶研修に行きました。

お昼からの出発なので、１時間程度の短い時間でしたが、接客やお店の雰囲気など、お茶を飲みながら「こうしたらいいね。こっちの方もいいかも…」なんて話しながら勉強(?!)してきました。

10月には〝白いくも〟も４周年を迎え、１日限定の菓子パン半額セールも行います!!　乞うご期待!

ミュージック・ケア（M・C 音楽療法）Vol.5

ミュージック・ケア（Ｍ・Ｃ）のお話第５弾です。今回は集団音楽療法だからこそ期待できる変化や効果をお話ししたいと思います。

楽曲の内容に関わらず、大きな声で数を数えることが大好きな利用者さんがいらっしゃいます。「１・２・３」から始まり、５０まで止まりません。プログラムの流れをいったん中断して、全員で一緒に数えると「皆と一緒にすると楽しい」「共にいることが嬉しくなる」感情が生まれます。嬉しいからこそ自分が置かれている状況に気付きます。場を読む力がついたその方は、次に数を数え初めた時、「１０までにしようね」の声掛けに、50まで数えずに自分をコントロールできるようになりました。心地よい感情は、関係性の広がりや深まりに繋がります。集団だからこそ期待できる変化だと感じます。

次回はどんなお話をしましょうか…。お楽しみに…。

ミュージック・ケア　浦川　暁美

いきいき班

ゴーヤを栽培 サラダで収穫祭も

今年の夏は「ベランダでゴーヤを育てて緑のカーテンを作ろう」と、初めての取り組みに挑戦しました。水やり当番を決めてゴーヤの成長を観察しながら、「いつゴーヤが出来るんだろう」と皆とても楽しみにしていました。しばらくすると小ぶりなゴーヤが実りお待ちかねの収穫です。収穫したゴーヤは後日、ゴーヤサラダとして昼食に並び、自分たちの育てた小さなゴーヤを「これかな？」と探しながら美味しくいただきました。

（いきいき班　南條　裕介）

←猛暑をさえぎる緑のカーテン

わくわく班

連日の入荷・出荷 大量注文もこなせるようになりました

毎日忙しく、みんなで頑張っています。

今年も夏の恒例のタオル入荷がありました。１件で2000枚と大量注文があり、一日で300枚以上を仕上げる事が出来る様になりました。現在は中村化工の仕事が主流で、業者さんからも「今日は来る？」と毎日のように連絡が入ります。みんな汗をかきながら、ダンボールを運び、色々な種類の商品を仕上げています。今では急ぎの仕事も頼まれるようになり、これからも信頼していただけるように、丁寧な仕上がりを目指します。

（わくわく班　藤本 久美子）

夏の取り組みから

夏はやっぱりプールが一番!?